

様式4-5

新しい公共支援事業の成果等報告
(業務を受託した中間支援組織等分)

1. 成果等報告

受託業務名	[提案方式導入]新しい公共を支える資源循環の基盤づくり事業	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 活動基盤整備支援 <input type="checkbox"/> 寄附募集支援 <input type="checkbox"/> 融資円滑化支援 <input type="checkbox"/> 利子補給 <input type="checkbox"/> その他 (複数回答可)	
受託者名	四日市NPO協会 ※ 旧四日市NPOセクター会議 (平成24年5月12日名称変更)	
実施期間	平成24年4月1日～平成24年9月30日 ※ 契約期間：平成24年4月1日～平成25年3月29日 (事業開始：平成23年10月1日～)	
受託金額	6,055,600円	
受託内容	<p>資金を循環させる「市民活動ファンド」、人的資源を循環させる「人財ポケット」、物的資源を循環させる「モノバンク」の3で構成される、官民連携による市民活動への資源循環の仕組みを構築する。</p> <p>■平成24年度に達成しようとする成果</p> <p>①各種の寄付によるファンド原資獲得と多様な主体による財団法人設立</p> <p>②財団法人ささえあいのまち創造基金(仮称)による資源循環のしくみの確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動を支援する寄付システムの確立 ・第1回寄付の市民活動への配分の実施 ・不用品・遊休地等の物件登録とマッチング ・人財ポケット登録と地域ニーズとのマッチング <p>③財団法人のキックオフイベント及び各種広報手段による市民への周知</p>	
得られた成果及び自己評価	<p>※ 支援の効果、今後の展望等のアウトカムとともに、自己評価を記載してください。</p> <p>①地域における市民セクターを支える重要なステークホルダーによる企画委員会を立ち上げ、5回にわたる会議を行うことで、市民活動の資源を多様な主体が力を合わせて支える機運が生まれた。その結果、本年8月の企画委員会において、2012年12月に、企画委員会をベースにした一般財団法人の設立を決定した。</p> <p>②基金設立に向け、イメージをつかむために京都地域創造基金の視察を企画委員会で行った結果、基金のイメージが明確になり、今後必要な寄付の集め方、基金運営における重要なポイントなどが把握できた。</p> <p>③四日市(菰野・朝日・川越3町の参加も前提)という、全国的な市民ファンドの中では小さい地域における、「顔の見える基金」の手ごたえが感じられる。</p>	
評価ランク	<input checked="" type="checkbox"/> S：特に優れた成果が得られた	<input type="checkbox"/> A：優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> ：一定の成果が得られた <input type="checkbox"/> C：限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/> D：成果が得られなかった (該当する評価に『』を付けてください。)

2. 添付書類

その他参考となる書類 なし ※ 都道府県において適宜設定すること。